

丸森町



丸森町PR大使
しよこ丸

水とみどりの輝くまち

丸森町は、宮城県の最南端に位置し、町の北部には阿武隈川が流れています。その流域には貴重な植生群や奇岩などが見られ、昭和63年に、阿武隈渓谷県立自然公園として指定されています。

また、かつて養蚕が盛んだった丸森町は、ネズミから蚕や繭を守る猫を祀った石碑が80基以上残されており、親しみや畏敬の念を込めて「猫神様」と呼ばれ大切にされています。

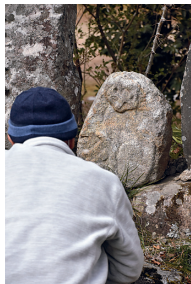
齋理幻夜

平成元年に14基の絵灯籠から始まった「齋理幻夜」は、丸森町のシンボリック的存在である蔵の郷土館「齋理屋敷」とその周辺で毎年8月上旬に開催される、町の大きなイベントの一つです。会場内には、小学生などが描いた絵灯籠約1000基に火がともされ、夏の夜が幻想的な空間となります。

屋敷前の中央通りは歩行者天国となり、夜店がたくさん並ぶほ



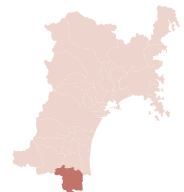
1000基を超える
絵灯籠が来場者の
目を魅せます



猫を大切にきた
文化が根付いています



通りに響く太鼓の
音色に多くの人が
聞き入っていました



令和5年4月末現在
人口:12,101人
世帯数:4,947世帯
丸森町総務課
0224(72)3025

か、レトロな自転車が目印で神出鬼没な「怪しい紙芝居屋さん」、丸森の語り部たちが柔らかく温かい丸森弁で昔話を語る「齋理ざつとむかし」、伊具高校の生徒が作る「幻夜新聞」、町内を中心に活動する団体の「太鼓演奏」など、その年ごとに趣向を凝らした催しが行われます。

利府町



十符の里の妖精
リーフちゃん

みんなの夢がかなうまち

利府町は、宮城県のほぼ中央に位置し、高速道路のインターチェンジが4カ所、在来線の駅が3カ所あるなど交通アクセスに優れた立地で、表松島の海の幸や特産の利府梨など豊富な地域資源を有し、都市と自然が調和した暮らしやすい町です。

また、住民みんなで支え成長する新拠点として、令和3年7月に文化交流センター「リフノス」が開館しました。令和5年4月末に累計来場者数が39万人に到達し、町の芸術文化の発信拠点として多くの方に親しまれています。

県内唯一の公道レースイベント開催!

7月23日(日)に「グランディ・21」をメイン会場に「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ」をメイン会場に「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ」を開催します。2回目となるこのイベントでは、普段なかなか見ることのできない競技を



令和5年4月末現在
人口:35,873人
世帯数:14,119世帯
利府町秘書政策課
022(767)2112

観戦できるほか、実際のレースに使用する車両の展示、ミニ四駆コーナーや動く車の展示など、子どもから大人まで楽しめるブースの出店を予定しています。ぜひ会場にお越しください。



TOYOTA GAZOO Racing
ラリーチャレンジ in 利府



文化交流センター「リフノス」